



sartorius

ザルトクリア DY ラボ P15

- 細胞培養上清の清澄化と滅菌処理が同時に1分で行えます(容量15mLまで) -

特長

ハーベスト回収の煩わしさから開放されます:
ザルトクリア DY ラボP15は、タンパクをインтактな状態で迅速にハーベストを回収し、短時間で次のステップに進めます。



製品情報

ザルトクリア DY ラボP15は15mLまでの動物細胞系培養上清の清澄化と滅菌処理を1ステップで行える様に設計されています。製品内容は清澄化をスムーズにする珪藻土充填済みのシリンジと滅菌用途の孔径0.2 μ mの大型シリンジフィルター(PES膜搭載)です。

高いろ過性能

ザルトクリア DY ラボP15はセルライン CHOや HEK、各種ハイブリドーマ等、多くの動物系の細胞培養に適しています。細胞濃度は 20×10^6 個以上でも対応可能です。

ろ過原理

ザルトクリア DYは珪藻土(DE)を用いたボディーフィードろ過法を原理としています。ボディーフィードろ過法とはろ液にろ過助剤を添加する方法で、隙間を作りろ過をスムーズに進める方法です。ろ過助剤となるDEは多孔性構造で不溶性な材質が主成分で粒子間のスペーサーとして働きます。さらにDE粒子はろ過膜上で堆積層を形成し、タンパク等を含む溶液はDEの多くの孔を通ることで円滑なろ過が可能になります。

迅速なハーベスト回収に最適な仕様

清澄化を簡易化するために、0.5gのDEを充填した20mL型シリンジがあります。これにより滅菌操作の前処理として必要な細胞培養液の遠心処理が不要となります。さらに付属のノズルを接続することで培養容器(例; バイオリアクター ambr® 15)から細胞培養液をシリンジ内に容易に吸引採取ができます。

これらの仕様で次のステップ(タンパク精製や濃縮)へ迅速な処理が可能となります。

滅菌用途のフィルターには孔径0.2 μ mのPES膜に高純度(100%)な石英繊維のプレフィルターが組み込まれています。この仕様で有効ろ過面積が増え、軽い力で高流量を得られます。このシリンジフィルターは個別滅菌包装になっています。

